

かぶらの里

第248号

令和8年7月1日

群馬県下仁田町下小坂877

かぶらの里 広報委員会

0274 (82) 0222

令和7年度事業報告

利用者の確保と必要な職員の確保を

令和7年度は新規の加算取得を含めた歳入の確保及び歳出の見直しや、利用者及び入所者の積極的確保、あらゆる手段を活用した人材の確保に努めてまいりました。歳出の削減ではムダ・ムリ・ムラの解消を職員に呼びかけ、光熱水費を始め諸費用が前年度よりも相対的に減少しており、赤字幅の縮減につながりました。

しかしまとまった退所者が出た後にその分入所者がすぐに入らず、年度始めからやや空床が多い状況となり、これが平均稼働率の落ち込みと収入減につながりました。ただし年度末には稼働率が徐々に持ち直し、現状では見込みを含めてほぼ満床という状況になっております。

居宅介護支援事業所は昨年4月1日に4年ぶりに再開となり、介護全般のご相談に応じ、ケアプランの作成を行う等トータルサポートのサービスが再開できました。

今後も地域に必要なサービスをスピード感を持って提供する施設であるために、役職員が一丸となって取り組んで参ります。

令和7年度決算報告書

事業活動計算書

令和7年4月1日～令和8年3月31日(単位:千円)

事業活動計算書			令和7年4月1日～令和8年3月31日(単位:千円)		
項 目		金 額	項 目		金 額
サービス活動増減	収 益		特別増減費用	設備借入金元金償還補助金収益	0
	介護保険収益	322,361		施設整備等補助金収益	0
	介護保険収益	253,102		その他特別収益等	13,500
	利用者負担金収益	67,340		特別収益計	13,500
	受託収益	1,919		国庫補助金等特別積立金積立額	0
	寄付金収益	10		その他特別損失等	13,500
	その他の収益	5,928		特別費用計	13,500
	収 益 計	328,299		当期活動増減差額	▲ 11,560
	費 用		繰越活動収支差額	前期繰越活動増減差額	0
	人件費	242,738		当期末繰越活動増減差額	▲ 11,560
	事業費	60,906		基本金取崩額	0
	事務費	29,550		積立金取崩額(備品等購入積立)	0
	減価償却費(国庫補助相殺後)	7,784		積立金積立額	0
	その他の費用	88			
	費 用 計	341,066			
	活動外増減				
	収益				
	借入金利息補助金収益	0			
	その他サービス活動外収益等	1,704			
	費用				
	借入利息支出	497			
	雑損失等	0			
	経常増減差額	▲ 11,560		次期繰越活動増減差額	▲ 11,560

出前講座で 頑張るあなたのお手伝いします

30分程度のミニ講座です。少人数グループからのご依頼もお受けします。お気軽にお問合せください。

介護予防体操	筋力アップ まずはやってみよう！
介護技術講座	自宅での介護(座り方・移乗・移動のお手伝い、洗髪)
心肺蘇生講座	いざという時のために！！
認知症講座	認知症のおはなし！
感染予防講座	コロナ・インフルエンザから身を守ろう！
手工芸講座	割り箸で、簡単・きれいな壁飾り



春はお花見！

特養では季節ごとにイベントを行います。3月のひな祭りでは、100歳を越えた利用者さんに桜もちを作って頂き、利用者さんのおやつにしたり、花見の時期には栄養士さんに箱弁を作って頂き、桜の花を見ながら食事を楽しみました。

これからも、色々なイベントを企画し楽しんで頂きたいと思います。(写真は右側)



合同お茶会・誕生日会

ユニットでは、5月下旬に合同お茶会とお誕生日会を開催しました。

当日はあいにく曇り空だったため、室内でその月の誕生日の方のお祝いをして、季節の歌などを皆様に歌い、お茶やお菓子をおいしくいただきながら親睦が図れて多くの笑顔が見られました。(写真は左側)



日々の積み重ねが大事

たくさんの年中行事を予定しているデイサービスでは、只今納涼祭・七夕に向けた装飾を制作中です。皆さんで相談し色合いを考えながら指先・思考力・想像力と、様々な機能を使いリハビリにもなっています。楽しみながら皆さんで行うと日々の生活の質向上にもつながります。これからも無理なく頑張りましょう。(写真は右側)



職員募集中：ブランクの方も歓迎

◆募集職種 パート栄養士
パート調理師(各1名)

◆勤務時間 シフト制
1ヶ月単位の変形労働時間制採用
勤務時間は相談の上で決定

◆給与 規定による。諸手当有

◆休日 原則、週休2日

◆福利厚生等、充実しています

編集後記

ここだけの話ですよ？私、事務職員なんですけど介護職員のことをかつこい！と思うときがあるんです。利用者様のレントゲン撮影のとき普段の車椅子からレントゲン用の車椅子へ移乗していただくんですけど、様々な体の状態の方がいらつしやいます。が、介護職員はどなたにもスツと介助、サツと移乗、ハハッとして笑っているんです。私はその姿を抱いています。本人たちにですか？もちろん言っちゃダメ(笑)毎年密かにプロたちの連携プレーを楽しみにしているんです。知られたら恥ずかしいので、ここだけの話にしてくださいね！(ナ)

***当施設の情報はX(旧ツイッター)発信中です。ぜひご覧下さい！**